



連合奈良の会長が生駒市に来訪 イコマドを視察、働き方改革について意見交換

日本労働組合総連合会 奈良県連合会（連合奈良）の会長 西田一美さんが、生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」を訪れ、生駒市民の「新しい働き方」を応援するイコマドの取組みや生駒市が進めるイクボス宣言、市職員の働き方改革等について意見交換を行います。

■ 来訪日程

- ◇ 日 時 1月19日（金）14：00～16：00
- ◇ 場 所 生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」
- ◇ 出席者 連合奈良 会長 西田 一美さん
副事務局長 渡邊 茂さん
西和地域協議会事務局長 仁田 実さん
西和地域協議会副議長 吉岡 浩さん
(生駒市職員労働組合執行委員長)
生駒市 市長、副市長、地域活力創生部長等担当者
イコマド (株)ワイズスタッフ社長 田澤 由利さん

◇ 内 容

- ・ イコマドの取組みの紹介、ウェブ会議のデモンストレーション
施設見学ののち、(株)ワイズスタッフ社長の田澤さんが、自身の経験から働き方改革、女性活躍、テレワークやインキュベーションの必要性、イコマドの役割について説明します。また、ウェブ会議のデモンストレーションも行います。
- ・ 生駒市の取組みの紹介
市担当職員が、イクボス宣言や生駒市職員に対する働き方改革の取組みについて紹介します。
- ・ 連合奈良会長との意見交換



この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域活力創生部（部長 石畑） ☎0743-74-1111(内線 350)

《参考》

■ 生駒市役所の働き方改革

生駒市は市職員の働き方改革として様々な取り組みを実施しています。

◇ 時間外勤務（残業）の削減

市長による各部ごとの時間外勤務上限目標の設定や、時間外勤務時間削減目標の人事評価項目への義務付け等により、平成23年度は8万2,539時間であった時間外勤務時間が、平成28年度には7万2,090時間と1万449時間の時間外勤務を削減、累計では5年間で約7万6千時間の時間外勤務を削減しました。

◇ 県内初のイクボス宣言

男性も女性も共に育児等をするための取組みとして、所属長がイクボスを宣言。各種休暇・休業制度を利用しやすい環境の整備、男性の育児参加にかかる休暇取得率の向上、組織内における業務効率化の促進に努めています。

その結果、イクボス充実度アンケート調査で全国4位（関西1位）になりました。

◇ 子育て職員へのフォロー

LINEグループとホームページを活用し職員に書類申請や人事異動等の情報を発信することで、育児休業中でも市役所内の情報共有が可能になりました。また、「仕事と子育て両立支援ハンドブック」を作成し職員に配布することで、各職員が妊娠期から育児期の計画を立て、所属や人事課と共有しやすくしました。

◇ 子ども参観日の実施

市職員の子どもがお父さんお母さんの仕事を見学・体験しました。この企画は平成27年度の職員提案で優秀賞を受賞した本市30代女性職員が提案し、実現したものです。仕事と育児の両立には子どもの理解が不可欠で、親の働く姿を見せたいという思いから提案されました。

◇ 副業（地域貢献活動）の促進

市職員の地域活動への積極的参加を促進し、公共性のある組織で副業に就きやすくするため、職員が職務外に報酬を得て地域活動に従事する際の基準を定めました。

◇ ワーク・ライフ・コミュニティ・バランス宣言

生駒市は、生駒市職員労働組合と協力し、職員の「ワーク・ライフ・コミュニティ・バランス」を推進していくことを宣言しました。労使が連携しての時間外勤務削減や、職員一人ひとりが自ら能力開発を図り地域活動に積極的に参加することを目指します。

■ 生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」

イコマドでは、さまざまな市民の「新しい働き方」を応援するため、「テレワーク（サテライトオフィス）」「インキュベーション（起業支援）」「コワーキング（協働）」の3つの機能を提供しています。生駒市は、子育て中のママをはじめとする女性の高いポテンシャルを活かし自己実現や希望する仕事への就業を目的とする「自分らしく働き続けられるまち・いこま」推進事業のもと、「子育てと仕事が両立できるまち」、「介護と仕事が両立できるまち」、「みんなが自分らしく働き続けられるまち」をめざします。